

をやったら数学や英語に時間が減るので、絶対だめだと言われます。このことは、大学側に数学や英語を猛烈にやってきた子が欲しいのか、少し数学や英語はやっていないが、そういうモチベーションを持った子が欲しいのか考えてもらう必要があります。しかし、この授業時間議論は、実はおかしいのです。学校でたくさん授業をやる方が大学に入れるというものでなく、モチベーションさえきちんとできていれば、自分で自発的に勉強するものです。自分で能動的に勉強することが大切なことです。したがって、少しの時間は潰しても、「産業界と人間」でモチベーションを形成したほうが良いということで、今盛んに呼び掛けています。

最後に「共生の時代を生きるために

それでは、最後にまとめさせていただきます。先ほど、百年生きる地球人であると言いました。今までは、とにかくよい学校に入り、よい会社に入ったら終身雇用の世界がありました。この終身雇用という、日本にしかなかった神話も今終わりを告げようとしています。産業の空洞化といわれる中で、地球で通用する人間を探していくということとあります。

二十一世紀は共生の時代であり、人類が生き残っていくために地球上で皆で共生していかなければなりません。臨時教育審議会は十年前にこのことを予言しているわけです。したがって、今私たちが行っている新しい学力観、教育改革を何としてでも成し遂げて、地球上で共生していける、いろいろなところで活躍していける若者を送り出していかねばならないのです。

私は、普通科高校で受験勉強ばかりしている子どもが心配です。専門学校に通って

いる子どもたちが学んでいることは、今後絶対に必要なことであり、この子どもたちは二十一世紀を必ず生き抜いていけると思えます。普通科高校の子どもたちが、モチベーションを持って大学に行き、スペシャリストとしての力を持ってくれればよいのですが、漫然と大学行って、漫然とホワイトカラーになろうと思っているならば、二十一世紀は生きて行けません。

二十一世紀がどうなるかということは私にはわかりませんが、二十世紀とは違う時代が来るという認識に立って、どんな時代になっても生き抜いていけるような力を、子どもたちに与えてやる必要があります。過去何万年の中でこんな夢の多い世代はありません。しかし、地球上にいっぱい夢が転がっているのに、私たち大人が子どもに遮断幕をかけて、受験勉強にかり立てているから子どもに夢がないのです。それは、時代が悪いのでも子どもが悪いのでもなく、私たち大人が考えを変えて、彼等に将来の夢を見せてやらなければなりません。いっぱい夢があるということを、幼児教育、家庭教育、地域の教育、社会教育、小・中・高の教育で徹底してやらなければならぬという考え方で、我々は高校以下の教育を進めておきます。

大学改革と高校以下の改革が、期を一にして進んでいくならば、大学にとっても、高校にとっても、そしてなによりも子どもたち自身にとっても、ハッピーな学校教育というものがつくれるのではないかと思います。今後ともいろいろな場面でご協力をお願いします。またお願いにあがることがあると思いますが、意のあるところをお汲み取りいただき、広島大学の皆様方にご理解とご協力を賜ることをお願いしまして、お話を終わらせていただきます。

(てらわき・けん)

日本ではあまり知られていませんが、オリエンテーリング(OL)にも、他のスポーツ競技と同じように世界選手権等の世界大会が開催されています。そのなかの一つである、二十歳以下の「世界一」を決める大会、ジュニア世界選手権(JWOC)に、私は日本代表の一員として参加することができました。

日本ではOLを大学から始める人が大多数ですが、幼い頃からOLをやっていた私にとっては、JWOCに出場することは一つの目標であり、夢でもありました。そのうえ、今回のJWOCは北欧のデンマークで行われるとあって、一度は本場北欧(北欧はOLの発祥地)のコースを走ってみたいと思っていた私にとって、二つもの夢を一度にかなえることができたのは、非常に幸運でした。

こうして挑んだデンマークの森は、日本の森とは違い、疎林が多く、どこも視界が良くて気持ち良く走ることができました。やはり、世界とのレベルの差は大きく、あまり良い結果とはなりません。しかし、私にとっては今後のOLに役立つものを多く得ることができました。

最後に、今回の海外遠征にご支援、ご声援くださったかたがたに心からお礼申し上げます。(よしむら・みつり)

ジュニア世界オリエンテーリング選手権に参加して

工学部第四類(建設系)二年 ◆ 吉村 充功

- (成績)
- ◎参加国33か国 参加者人数325名
 - ☆7月9日 ショート (4.7km/165m/11ポスト) 1位 25分50秒 108位(吉村) 36分58秒
 - ☆7月11日 クラシカル (11.5km/505m/21ポスト) 1位 1時間10分02秒 118位(吉村) 1時間42分41秒
 - ☆7月12日 リレー(27か国) 1位 デンマーク 2時間17分23秒 22位 日本 3時間12分06秒



▲リレー第一走者出走前の風景 (デンマークのホーセンス市にて)

日本代表選手激励金のお礼
このたび、一九九五オリエンテーリングジュニア世界選手権大会に出場しました吉村充功君の激励金の募金に際しては、多くの方々のご賛同を得ましたことを厚く御礼申し上げます。お陰様をもちまして、左記のとおり多額のご出宝をいただきました。学生の励みとなりベストを尽くすことができました。これもひとえに皆様方のご援助の賜物と厚く感謝いたしております。誌面をかりて改めて御礼申し上げます。

吉村充功君を激励するご出宝 七十五件 総額 十五万六千円

- 学 長(体育会会長) 原田康夫
- 学生部長(体育会副会長) 西村清巳
- 工学部長(体育会顧問) 茂里一紘
- 体育会オリエンテーリング部部長 植田康成